

令和7年分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年分について、輸出は「自動車の部分品」、「電気計測機器」などが減少したものの、「家庭用電気機器」、「原動機」、「半導体等電子部品」などが増加したことから対前年比10.1%の増加となった。また、輸入は「医薬品」、「魚介類及び同調製品」などが減少したものの、「原動機」、「有機化合物」、「半導体等電子部品」などが増加したことから、同14.5%の増加となった。

その結果、差引額は540億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1兆4,458億円	+10.1%	1兆4,999億円	+14.5%	▲540億円	—
	2年連続の増加		4年連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)家庭用電気機器	483億円	+58.8%	輸入	増加品目	(1)原動機	3,143億円	+23.6%
		(2)原動機	933億円	+21.3%			(2)有機化合物	681億円	+115.7%
		(3)半導体等電子部品	1,554億円	+5.4%			(3)半導体等電子部品	2,198億円	+14.2%
	減少品目	(1)自動車の部分品	342億円	▲21.9%		減少品目	(1)医薬品	895億円	▲29.1%
		(2)電気計測機器	718億円	▲10.6%			(2)魚介類及び同調製品	34億円	▲53.5%
		(3)科学光学機器	497億円	▲6.7%			(3)非金属鉱物製品	83億円	▲16.7%
	主要地域 増減	アジア、アメリカが増加、EUは減少					アジア、アメリカ、EUが増加		

（参考）ドルレートは、149.69円（前年比0.8%、1.28円の円高）であった。

（注）年間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。